

令和6年度決算について

学校法人駒澤大学の令和6年度決算は、監事および監査法人の監査を経て、令和7年5月29日の理事会及び6月19日の評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は275億875万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入162億4,036万円、入学検定料などの手数料収入9億4,317万円、教育後援会・同窓会等の後援団体や(株)KUサポート、企業・個人等からの教育研究活動への寄付等による寄付金収入2億5,320万円、国や地方公共団体からの補助金収入25億2,773万円、私学退職金財団等交付金などの雑収入6億2,699万円、授業料・入学金等の前受金収入56億9,382万円、各種引当特定資産取崩等のその他の収入61億3,587万円等です。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、383億4,642万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は276億9,152万円となりました。主な項目は人件費支出105億5,618万円、教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出61億3,979万円、教育・研究を間接的に支援する管理経費支出9億9,163万円、日本私立学校振興・共済事業団等への借入金等返済支出2億2,810万円、駒澤大学旧図書館を改修した駐輪場建設工事、玉川キャンパステニスコート改修工事等に係る施設関係支出10億9,252万円、駒澤大学無線アクセスポイント更新、図書館システム機器購入に係る機器備品支出、教育関係図書支出等の設備関係支出4億8,790万円、各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出80億円等です。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、383億4,642万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、支払資金の流れの面から、本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計210億2,503万円から、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計176億8,697万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等7億9,562万円を加えた教育活動資金収支差額は、41億3,369万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備寄付金や施設設備補助金、特定資産取崩収入などの施設整備等活動資金収入計51億1,850万円から、施設関係支出や設備関係支出、駒澤大学新教場棟(仮称)建設事業及び新研究棟(仮称)建設事業に充当する第2号基本金引当特定資産繰入支出などの施設整備等活動資金支出計88億8,042万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等3億690万円を引いた施設整備等活動資金収支差額は、

40 億 6,882 万円のマイナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。借入金等収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入、受取利息・配当金収入など、その他の活動資金収入計 6 億 9,306 万円から、借入金等返済支出、退職給与引当特定資産繰入支出など、その他の活動資金支出計 9 億 4,018 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 51 万円を引いたその他の活動資金収支差額は、2 億 4,763 万円のマイナスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より 1 億 8,277 万円減少し、翌年度繰越支払資金は 106 億 5,490 万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計から、人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計を差し引いた教育活動収支差額は、14 億 466 万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち 19 億 78 万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金等による教育活動外収入計から、借入金等利息等による教育活動外支出計を差し引いた教育活動外収支差額は、1 億 4,160 万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は、教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、15 億 4,626 万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計から、資産処分差額などの特別支出計を差し引いた特別収支差額は、7 億 6,291 万円の収入超過となりました。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は 23 億 918 万円の収入超過となり、ここから基本金組入額 25 億 3,941 万円を差し引くと、令和 6 年度の当年度収支差額は 2 億 3,023 万円の支出超過となりました。当年度収支差額（支出超過）と前年度繰越収支差額（支出超過）の合計額に基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は、133 億 6,300 万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は 220 億 361 万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は 196 億 9,443 万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、駒澤大学において旧図書館の監視システム除却及び当期の減価償却による建物の減少等により3億5,534万円減少しました。

特定資産は、本部会計において新教場棟（仮称）建設事業ならびに新研究棟（仮称）建設事業に係る第2号基本金引当特定資産に各5億円の計10億円、減価償却引当特定資産に8億円、将来計画引当特定資産に5億円の繰入支出、駒大高校において建設準備引当特定資産に2億円の繰入支出等により、31億8,374万円増加しました。その他の固定資産は、本部において有価証券売却収入1,000万円等により1,665万円減少しました。

流動資産は、現金預金の減少等に伴い2億9,720万円減少しました。

その結果、前年度より25億1,454万円増加し、資産総額は1,042億7,395万円となりました。

【負債の部】

固定負債は、借入金を約定どおり返済した長期借入金の減少により1億2,117万円減少しました。流動負債は、短期借入金や未払金が減少したものの、前受金の増加により3億2,652万円増加しました。

その結果、前年度より2億535万円増加し、負債総額は172億8,807万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より25億3,941万円増加し、1,003億4,889万円となりました。翌年度繰越収支差額は、前年度より2億3,023万円減少し、133億6,300万円の支出超過となりました。

その結果、純資産は前年度より23億918万円増加し、869億8,588万円となりました。